

第4回大多喜町動画コンテスト

受賞者インタビュー

町長賞 「酒封じの神? 酒護神? 忠朝の想い」 大沼かつや さん = 東京都



[https://youtu.be/-](https://youtu.be/-83Z4IyD2m0)

83Z4IyD2m0

町長賞をいただき大変光栄です。受賞後に、私の住む武蔵小山（品川区）と大多喜町は、ムサコだけの祭りやマルシェで毎年交流があると聞き、ひととき嬉しく思っています。

私は20年ほど印刷会社でデザイン・制作（DTP）に携わったのち独立し、日頃はポスター、パンフレット、POP、パッケージ、ノベルティーなどのデザインを行っています。動画の魅力に触発され、自身でも制作するようになったのは、この1年くらいです。今後は動画を含めて地方創生の仕事に関わりたいと考えるなかで、大多喜町のコンテストにたどり着きました。

私はいわゆる「歴史好き」で、いろいろな所へお城を見に行っています。大多喜城も20年ほど前に一度訪れています。それを忘れていて、「大多喜町ってどこだろう?」というところから今回入りましたが、「あ、そうだそうだ、大多喜城」と思い出しました。そうすると、誰が殿様だったかな? 本多忠勝だと。当然、本多忠勝からは徳川家康とか、義理の息子は真田信之とか、広がっていきます。

忠勝の次男、忠朝を調べていくと、大多喜藩主として治政や新田開発に積極的に取り組み、領内の安定と発展に大きな役割を果たしたこと。また難破したロドリゴ一行を保護、40日間にもわたって歓待し、この縁は現在も大多喜町とスペイン及びメキシコとの国際交流の礎となったことなど、槍働きのみで武将ではない一面も見えてきました。ところが大坂の陣では酒で面目を失ったことから、関西では酒封じの神様となっております。大多喜町には江戸時代から続く酒蔵があるのですが、そのため忠朝はPRで起用しにくい存在になってはいまいかと思いました。そうであれば、逆に「新しいドラマ」をここから作れないかと考えを巡らせていると、ストーリーの起承転結が頭に浮かびました。

お酒は今や、飲め飲めという風潮ではなく、PRも難しくなっています。むしろ、美味しく飲む、上手に飲む神様「酒護神（しゅごしん）」として忠朝を位置づけたなら、今の時代にマッチしたPRになると考えました。暴飲して失敗を招いてしまうのではなく、お酒とうまく付き合い、将来の失敗から護ってくれる存在として忠朝の力をお借りしたいと思いました。

大多喜城下に撮影に来てみると、想像以上に江戸情緒が残っていました。今回のテーマから、じっくり観ていただける動画を作りたかったので、特に絵になるところを、しかも他の応募者が取り挙げていないようなところを探しては、ワンショットを少し長めに撮影し、どういうふうに編集していこうかと考えながら街中を歩きました。

映像が本職の方には「テロップ」が大きすぎると言われそうで迷いましたが、私はあえて「ストーリーの追いやすさ」を優先しました。2回、3回と動画を繰り返し観ていただくと、今度はストーリー以外の映像にも気付いていく。そのへんは考えながら制作しました。何回も観ていただき、情緒あふれる映像も楽しんでいただけると嬉しいです。

この動画は忠朝を入口に、いろいろな方に観てほしいですね。チーバくんプラザ（三井アウトレットパーク木更津内）での上映を知らされた時は嬉しかったです。また、大多喜町のお酒（豊乃鶴酒造）のPRや大河ドラマ誘致でも使っていただけたら何よりです。個人的には、失敗して不遇な時期を過ごしている方に、「こうしてがんばった人がいるんだよ」とパワーを送れたら嬉しいです。「歴史好き」の方は、一回は必ず観ていただけるかなと思います。

自身にかけてあげたい言葉は、1年前の自分には「こんな風がんばれば、いいことあるよ」と。まだ映像制作では試行錯誤で悩みながら作っていますが、今の自分には「これからも気をゆるめずに、悩みながらも前を向いて進んで行け。がんばれよ。また一年後にきっといいことあると信じて」と言ってあげようと思います。

今後は大多喜町のたけのこ、酒蔵、忠朝についても、もっと掘り下げた作品が作れたらいいですね。今年は季節の折に触れ、大多喜町に来て撮影していきたいです。これまで培ってきたDTPデザイナーとしての経験や感性を活かして、大多喜町をはじめ地方のみなさまのPR活動のお手伝いができるように頑張りたいです。

今後動画コンテストに出品しようかと考えている方には、コンテストは、開催回数を重ねるごとにハードルがあがるかもしれませんが、動画をしっかり観ていただける場なのでトライする価値はあると思います。自分の特色を思い切り発揮して、チャレンジいただくのがよいのでは。一度大多喜町に来て、動画を撮っていただいたのなら、自分なりに訪れた記念に編集して、気軽に応募するのもよいかと思っています。



喜びの、
おひざもと。
千葉県 大多喜町